

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年5月26日

第149号

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本です。

【速報：5/17 まつ組飼育のダンゴムシが一匹脱皮し、半分白くなりました。】

【速報：5/23 まつ組飼育のハサミムシが産卵し、母虫が卵を守っています。】

子どもの姿から

【誕生会のグッズ、いろいろ、】→

20日(金)に、誕生会を開きました。

お誕生日、おめでとうございます。盛り上げてくれた園児の皆さんと参加していただいた保護者の皆様に感謝します。今年のテーマは「トイ・ストーリー」で、園児はウッディやジェシーに扮します。バズ・ライトイヤーも出ます。イベントでは「越後上越上杉おもてなし武将隊」の皆様が、気迫と楽しさ豊かに演じてくださいました。みんなでダンスもしました。元気いっぱいになりました。感謝です。



園庭・園舎から

【創立記念日の給食です】→

17日(火)は、高田幼稚園のお誕生日でした。大正5年(1916年)創立で、106歳です。お誕生日給食も出ました。高田市立高田幼稚園創立時は、大手町小学校の敷地内に園舎が新築開園されたそうです。

18日(水)は、避難訓練を行いました。地震の想定で、防災頭巾を被って遊戯室に避難しました。その後は、「自分の大切な命を守る」ための〇×クイズに取り組み、立派な賞品を獲得しました。

19日(木)は、かめさんくらぶを初めて開催しました。幼稚園教育と小学校教育の連携・接続を目的に、小学校の先生方に本園の日頃の活動を公開する場を設けました。市教委の高橋指導主事様や本園の学校運営協議会の井上会長様から園庭での遊びを中心に見ていただきました。どろんこになって遊ぶ子どもたちの姿から、たくさんの学びや教育的価値を見つけてくださり、感謝です。



キーワード

【おもてなし武将隊さんの立派な車】→

○友達との葛藤は学びの機会

幼児期は自我が芽生える時期であり、友達との間で物をめぐる対立や思いの相違による葛藤が起こりやすい。幼児は、それらの経験を通して、相手の気持ちに気付いたり自分の思いを相手に分かってもらうために伝えることの大切さを学んだりしていく。また、自分の感情を抑え、相手のことを思いやる気持ちも学んでいく。この意味で、友達との葛藤が起こることは、幼児の発達にとって大切な学びの機会であるといえる。ここで教師は、幼児一人一人の発達に応じて、相手がどのような気持ちなのか、あるいは自分がどのようにすればよいのかを体験を通して考えたり、人として絶対にしてはならないことや言うてはならないことがあることに気付いたりするように援助することが大切である。また、集団の生活にはきまりがあることに気付き、そのきまりをなぜ守らなければならないかを体験を通して考える機会を与えていくことが重要である。



(引用：文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館・平成30年)